

平成23年5月6日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 2503 URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 占二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 鈴木 健介 TEL 03-5540-3455

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	488,923	10.4	32,985	38.3	29,396	42.3	△2,113	—
22年12月期第1四半期	442,772	△9.1	23,846	152.2	20,654	56.3	6,157	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	△2.20	—
22年12月期第1四半期	6.46	6.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	2,649,288	1,167,318	36.3	1,001.16
22年12月期	2,649,197	1,159,036	36.3	1,000.51

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 962,944百万円 22年12月期 962,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	12.50	—	12.50	25.00
23年12月期	—				
23年12月期(予想)		13.50	—	13.50	27.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,030,000	2.0	57,000	△4.7	58,000	3.0	18,000	151.5	18.71
通期	2,140,000	△1.7	152,000	0.3	148,000	5.0	58,000	409.0	60.29

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響は加味しておりません。当該影響につきましては、現在精査中であり、業績予想の修正等、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

なお、今後予想される影響につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年12月期1Q	965,000,000株	22年12月期	965,000,000株
② 期末自己株式数	23年12月期1Q	3,173,769株	22年12月期	3,010,208株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年12月期1Q	961,823,573株	22年12月期1Q	953,264,517株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成23年1月1日～平成23年3月31日)のわが国経済は、海外経済の改善などを背景に持ち直しに転じていましたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、下押し圧力が強い状態にあります。

このような状況の中、キリングroupでは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2015」(略称:KV2015)実現に向けた第2ステージである「2010-2012年キリングroup 中期経営計画」の2年目として、“質的拡大”に向けた取組みを強化しました。国内においては、引き続き総合飲料グループ戦略を推進するとともに、機能別に組織されたクロス・カンパニー・チーム主導の下、グループ横断で一層の収益性と効率性向上を図りました。

海外では、1月に華潤創業有限公司と中国における清涼飲料事業に関する合弁会社を設立することに合意しました。合弁会社設立により、当社グループの強みである商品開発力、技術力やリサーチ・マーケティング力と、華潤創業社が有する物流・販売ネットワークなどの強固な事業基盤を融合することでシナジーを創出し、今後急速な成長が見込まれる中国清涼飲料市場におけるリーディングカンパニーになることを目指しています。

3月には、ベトナム飲料製造・販売会社であるインターフード社の株式取得を完了しました。流通ネットワークや製造設備の活用などを通じて、人口増加や経済成長の下、急速に拡大するベトナム清涼飲料市場における事業基盤強化を図ります。

また、東日本大震災の発生により、キリンビール㈱をはじめとした当社グループ会社においても、製造・物流・販売等において影響を受けました。

これらの結果、当第1四半期の売上高、営業利益、経常利益は増加しましたが、当期純利益は、東日本大震災の発生に伴い、被災したキリンビール㈱仙台工場の製品・半製品評価減等、現時点で認識された特別損失として51億円を計上したこと等により、減少しました。

連結売上高	4,889億円(前年同期比	10.4%増)
連結営業利益	329億円(前年同期比	38.3%増)
連結経常利益	293億円(前年同期比	42.3%増)
連結第1四半期純損失	△21億円(前年同期比	—)

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当第1四半期から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用に伴い、開示セグメントの区分を変更しております。セグメント概況の説明にあたっては、比較のため、前年同四半期業績の新セグメントへの組替えを行っております。

<国内酒類事業>

国内酒類事業では、キリンビール㈱が、注力すべきブランドの選択と集中を進めるとともに、新たなカテゴリー創出に努めています。拡大が続く新ジャンルカテゴリーでは、特に健康に対する意識の高いお客様に対し、2月に「キリン濃い味<糖質0(ゼロ)※>」を発売し、さらなる市場の活性化を図りました。また、成長する梅酒カテゴリーに向けては、「キリン まっこい梅酒」を発売しました。なお、東日本大震災の影響として、被災した仙台・取手両工場の製造停止に加え、缶資材の不足や燃料調達など物流上の制約、首都圏を中心とした消費マインドの低下により、販売数量が減少しました。

※糖質ゼロは100mlあたり糖質0.5g未満のものに表示可能(栄養表示基準による)

メルシャン㈱では、国産・輸入とも主力商品を中心にデイリーワインが引き続き好調に推移しました。また、ライオンネイサン ナショナルフーズ社傘下のワイナリーと共同開発したオーストラリアワイン「セント・ハレット タティアラ」を3月に発売し、販売強化を図りました。国産中高級価格帯ワインも好調に推移しました。なお、東日本大震災の影響については、自動倉庫の一部被害や計画停電、包装資材供給不足による商品出荷調整等がありました。

これらの結果、売上高は減少しましたが、販売費の減少等により営業利益は増加しました。

国内酒類事業連結売上高	1,693億円(前年同期比	8.2%減)
国内酒類事業連結営業利益	50億円(前年同期比	58.8%増)

<国内飲料事業>

国内飲料事業では、キリンビバレッジ㈱が基盤ブランドを軸とした活動を強化するとともに、継続的に収益構造改革に取り組み、成長力の再構築を進めています。主力ブランドである「キリン ファイア」、「キリン 午後の紅茶」においては、「キリン ファイア 香る挽きたて」、「キリン 午後の紅茶 おいしい無糖」を発売し、さらなる市場活性化を

図りました。なお、東日本大震災の発生を受け、需要が高まった水・お茶に対して最大限の製造・出荷対応を行ないました。また、コーヒー、紅茶等の一部新商品については発売を延期しています。

これらの結果、売上高、営業利益ともに減少しました。

国内飲料事業連結売上高	651億円 (前年同期比	12.6%減)
国内飲料事業連結営業損失	△19億円 (前年同期比	—)

〈海外酒類・飲料事業〉

ライオンネイサン ナショナルフーズ社では、酒類、飲料事業ともに、引き続きブランド力強化を重視した事業経営を推進することにより、さらなる収益性と効率性の向上に努めました。一方、消費者の低価格志向や原材料価格の高騰に加え、冷夏等の影響もあり、厳しい市場環境が継続しました。

これらの結果、海外酒類・飲料事業の売上高は主にナショナルフーズ社の前年度の決算期変更により増加しましたが、営業利益は減少しました。

海外酒類・飲料事業連結売上高	1,176億円 (前年同期比	85.8%増)
海外酒類・飲料事業連結営業利益	62億円 (前年同期比	30.5%減)

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱において、主力製品である腎性貧血治療剤「ネスプ」、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」等が伸長したほか、花粉飛散量が多かった影響等により、抗アレルギー剤「アレロック」、抗アレルギー点眼剤「バタノール」の売上高も好調に推移しました。さらに、震災以降は、医薬品の出荷が急増したことから、前年同期を大きく上回る売上高となりました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料は、円高による影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。ヘルスケア製品では、通信販売リメイクシリーズの売上高は増加しましたが、健康食品素材の売上高が前年同期を下回りました。

化学品事業を展開する協和発酵ケミカル㈱の売上高は、事業環境の回復等により国内、輸出ともに好調に推移しました。なお、協和発酵キリン㈱は、同社が保有する協和発酵ケミカル㈱の全株式を3月31日に譲渡しました。

これらの結果、売上高、営業利益はともに増加しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	1,126億円 (前年同期比	14.7%増)
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	226億円 (前年同期比	84.7%増)

なお、協和発酵キリン㈱は、2月に、米国及び欧州においてがん関連領域をはじめとする医療用医薬品の開発・販売体制を有する英国スペシャリティファーマであるProStrakan Group plcの買収手続きを開始することに合意し、4月に買収が成立しました。

〈その他事業〉

キリン協和フーズ㈱では、引き続き価値提案型の開発・営業体制を強化するとともに、お客様のニーズに応える製品・サービスの提供に努めました。

これらの結果、売上高は増加しましたが、営業利益は減少しました。

その他事業連結売上高	240億円 (前年同期比	8.0%増)
その他事業連結営業利益	15億円 (前年同期比	18.9%減)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金、有形固定資産、投資有価証券等が減少したものの、現金及び預金等の増加により、前連結会計年度末に比べ0億円増加して2兆6,492億円となりました。

負債は、有利子負債等が増加したものの、支払手形及び買掛金、未払酒税等の減少により、前連結会計年度末に比べ81億円減少して1兆4,819億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ82億円増加して1兆1,673億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

このたびの東日本大震災により、電力不足による経済活動の低下や、不透明な消費動向などが今後も続くことが懸念されますが、当社グループへの影響度を現時点で合理的に算定することは困難であるため、業績予想にはこれを加味せ

ず、本年2月10日に公表いたしました業績予想を変更せずに記載しております。今回の震災による影響は引き続き精査し、業績予想の修正等、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して、一般債権の貸倒見積高を算定しております。

2) 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

3) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

②特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ48百万円、税金等調整前四半期純利益は1,529百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2,854百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	190,968	51,463
受取手形及び売掛金	316,986	415,268
商品及び製品	111,431	129,704
仕掛品	33,287	19,917
原材料及び貯蔵品	41,520	38,191
その他	76,756	74,483
貸倒引当金	△2,093	△1,939
流動資産合計	768,858	727,088
固定資産		
有形固定資産	711,001	739,235
無形固定資産		
のれん	563,383	562,492
その他	93,814	95,864
無形固定資産合計	657,197	658,357
投資その他の資産		
投資有価証券	414,286	428,383
その他	104,717	103,562
貸倒引当金	△6,772	△7,430
投資その他の資産合計	512,231	524,515
固定資産合計	1,880,429	1,922,108
資産合計	2,649,288	2,649,197

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	120,904	169,036
短期借入金	125,256	181,786
コマーシャル・ペーパー	143,985	10,999
1年内償還予定の社債	3,250	3,361
未払法人税等	16,318	26,544
引当金	18,700	7,491
その他	208,472	280,475
流動負債合計	636,888	679,695
固定負債		
社債	319,406	320,070
長期借入金	307,333	262,720
退職給付引当金	63,701	66,882
その他の引当金	6,080	6,212
その他	148,558	154,578
固定負債合計	845,081	810,464
負債合計	1,481,970	1,490,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,416	81,412
利益剰余金	807,381	821,519
自己株式	△3,174	△2,985
株主資本合計	987,669	1,001,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,369	7,252
繰延ヘッジ損益	1,457	1,285
土地再評価差額金	△4,713	△4,713
為替換算調整勘定	△28,838	△43,341
評価・換算差額等合計	△24,724	△39,516
新株予約権	227	207
少数株主持分	204,145	196,352
純資産合計	1,167,318	1,159,036
負債純資産合計	2,649,288	2,649,197

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	442,772	488,923
売上原価	265,723	292,515
売上総利益	177,048	196,408
販売費及び一般管理費	153,202	163,422
営業利益	23,846	32,985
営業外収益		
受取利息	333	122
受取配当金	347	1,951
持分法による投資利益	1,544	—
その他	1,674	1,581
営業外収益合計	3,900	3,656
営業外費用		
支払利息	5,507	5,361
持分法による投資損失	—	421
その他	1,583	1,462
営業外費用合計	7,091	7,245
経常利益	20,654	29,396
特別利益		
固定資産売却益	48	3,911
投資有価証券売却益	4,544	261
関係会社株式売却益	122	6,771
その他	615	1,052
特別利益合計	5,331	11,995
特別損失		
固定資産除却損	840	439
固定資産売却損	28	179
投資有価証券評価損	142	1,928
投資有価証券売却損	2	—
関係会社株式売却損	3,801	—
事業整理損失引当金繰入額	—	3,555
東日本大震災関連損失	—	5,146
その他	2,149	3,870
特別損失合計	6,964	15,119
税金等調整前四半期純利益	19,021	26,272
法人税等	8,812	21,682
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,590
少数株主利益	4,051	6,703
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,157	△2,113

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,021	26,272
減価償却費	22,283	24,887
のれん償却額	7,251	9,018
受取利息及び受取配当金	△680	△2,074
持分法による投資損益(△は益)	△1,544	421
支払利息	5,507	5,361
為替差損益(△は益)	△728	△230
固定資産売却益	—	△3,911
投資有価証券売却益	△4,544	△261
関係会社株式売却益	—	△6,771
関係会社株式売却損	3,801	—
売上債権の増減額(△は増加)	77,197	71,389
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,349	△6,924
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,893	△28,638
未払酒税の増減額(△は減少)	△45,407	△44,128
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,452	50
預り金の増減額(△は減少)	△13,534	△5,987
その他	△4,957	4,432
小計	30,968	42,905
利息及び配当金の受取額	3,278	2,947
利息の支払額	△4,995	△6,047
法人税等の支払額	△21,808	△31,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,444	7,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△26,572	△22,506
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,237	3,626
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△308	△8,188
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	8,775	2,555
子会社株式の取得による支出	△2,139	△9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	89	54,847
その他	△867	△3,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,784	27,006

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△13,124	△32,506
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	39,998	132,985
長期借入れによる収入	12,404	58,034
長期借入金の返済による支出	△10,246	△37,972
少数株主への子会社減資による支出	△2,058	—
自己株式の取得による支出	△152	△288
自己株式の売却による収入	13	86
配当金の支払額	△10,963	△12,025
少数株主への配当金の支払額	△2,169	△3,061
その他	598	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,299	105,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,076	908
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△117	140,919
現金及び現金同等物の期首残高	118,797	45,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,680	186,197

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

	酒類 (百万円)	飲料・食品 (百万円)	医薬 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	236,429	95,552	49,645	61,144	442,772	—	442,772
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,752	1,359	29	7,866	15,007	(15,007)	—
計	242,181	96,912	49,674	69,010	457,779	(15,007)	442,772
営業利益	15,891	124	10,359	2,125	28,502	(4,655)	23,846

(注) 1 事業区分は、製品の種類、性質を考慮した経営管理上の区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類	ビール、発泡酒、新ジャンル、洋酒、エンジニアリング、物流他
飲料・食品	清涼飲料、食品、健康・機能性食品他
医薬	医薬品
その他	バイオケミカル、化学品、花卉他

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	364,851	60,865	17,054	442,772	—	442,772
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,832	1,024	2,111	10,968	(10,968)	—
計	372,684	61,890	19,165	453,740	(10,968)	442,772
営業利益	18,105	9,199	1,152	28,457	(4,610)	23,846

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度を考慮して区分しております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

地域区分	主要な国又は地域
アジア・オセアニア	東アジア、東南アジア、オセアニア諸国
その他	アメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

	アジア・オセアニア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	68,715	22,114	90,829
II 連結売上高(百万円)	—	—	442,772
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.5	5.0	20.5

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

地域区分	主要な国又は地域
アジア・オセアニア	東アジア、東南アジア、オセアニア諸国
その他	アメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは持株会社体制の下、「国内酒類」事業を営む麒麟麦酒㈱、「国内飲料」事業を営むキリンビバレッジ㈱、「海外酒類・飲料」事業を営むLion Nathan National Foods Pty Ltd、「医薬・バイオケミカル」事業を営む協和発酵キリン㈱等の各事業会社が、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、事業会社の単位を重視し、経済的特徴の類似性等を考慮した上で各事業会社を結合し、「国内酒類」「国内飲料」「海外酒類・飲料」「医薬・バイオケミカル」の4つを報告セグメントとしております。

「国内酒類」はビール、発泡酒、新ジャンル、洋酒他酒類製品の製造・販売を行っており、エンジニアリング、物流等の事業を含んでおります。

「国内飲料」は清涼飲料の製造・販売を行っております。

「海外酒類・飲料」は海外におけるビール、洋酒、清涼飲料、乳製品等の製造・販売を行っております。

「医薬・バイオケミカル」は医薬品、バイオケミカル製品等の製造・販売を行っております。

なお、「国内酒類」「国内飲料」は一部在外会社を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内酒類・飲料		海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル			
	国内酒類	国内飲料					
売上高							
外部顧客への売上高	169,385	65,157	117,675	112,672	24,032	—	488,923
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,588	1,274	142	2,189	7,619	△18,813	—
計	176,974	66,431	117,817	114,862	31,651	△18,813	488,923
セグメント 利益又は損失(△)	5,078	△1,997	6,271	22,654	1,577	△599	32,985

(注) 1 「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△599百万円には、セグメント間取引消去4,105百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,705百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2011年第1四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー
6. その他情報

キリンホールディングス株式会社
2011年5月6日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	4,889	4,427	461	10.4%
売上総利益	1,964	1,770	193	10.9%
販売費及び一般管理費	1,634	1,532	102	6.7%
営業利益	329	238	91	38.3%
営業外収益	36	39	△2	△6.2%
営業外費用	72	70	1	2.2%
経常利益	293	206	87	42.3%
特別利益	119	53	66	125.0%
特別損失	151	69	81	117.1%
税金等調整前四半期純利益	262	190	72	38.1%
法人税等	216	88	128	146.0%
少数株主利益	67	40	26	65.4%
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21	61	△82	—
EBITDA ※	633	532	100	18.9%

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

		2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	酒税抜き	4,272億円	3,754億円	518億円	13.8%
営業利益	のれん等償却前	436億円	323億円	113億円	35.0%
営業利益率	対酒税抜き・のれん等償却前	10.2%	8.6%		
	対酒税抜き・のれん等償却後	7.7%	6.4%		
海外比率	酒税抜き売上高	34.0%	24.2%		
D/Eレシオ		0.93	0.94		

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位:円)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)
ライオンネイサン ナショナルフーズ酒類(豪ドル)	81.20	81.81
ライオンネイサン ナショナルフーズ飲料(豪ドル)		— ※
サンミゲルビール(フィリピンペソ)	1.90	1.93

	2011年第1四半期(実績)	2010年第1四半期(実績)
ライオンネイサン ナショナルフーズ酒類	2010年10月~2010年12月	2009年10月~2009年12月
ライオンネイサン ナショナルフーズ飲料		— ※
サンミゲルビール		2009年10月~2009年12月

※ 決算期変更により2010年第1四半期は取り込まれていない

2. 売上高明細

(単位:億円)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	4,889	4,427	461	10.4%
国内酒類	1,693	1,844	△150	△8.2%
キリンビール(単社)	1,479	1,626	△146	△9.0%
メルシャン	164	168	△4	△2.6%
その他・内部取引消去	49	49	0	0.1%
国内飲料	651	745	△93	△12.6%
キリンビバレッジ	664	737	△73	△10.0%
その他・内部取引消去	△12	7	△19	—
海外酒類・飲料	1,176	633	543	85.8%
ライオンネイサン ナショナルフーズ	1,112	562	549	97.8%
酒類	517	562	△45	△8.0%
飲料	594	—	594	—
その他・内部取引消去	64	71	△6	△9.0%
医薬・バイオケミカル	1,126	981	144	14.7%
協和発酵キリン	1,148	992	156	15.7%
医薬	633	496	136	27.6%
バイオケミカル	177	197	△19	△9.8%
化学品 他	337	298	38	12.8%
その他・内部取引消去	△21	△10	△11	—
その他	240	222	17	8.0%

<参考> 酒税抜売上高

(単位:億円)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)
キリンビール(単社)	879	965

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	329	238	91
国内酒類	50	31	18
キリンビール(単社) マネジメントフィ等	71 △23	58 △25	12 2
計	47	32	14
メルシャン マネジメントフィ等	0 △1	△6 —	6 △1
計	△0	△6	5
その他	4	5	△1
国内飲料	△19	△15	△4
キリンビバレッジ マネジメントフィ等 のれん償却額	△4 △7 △4	△0 △7 △4	△4 △0 △0
計	△17	△12	△4
その他	△2	△2	0
海外酒類・飲料	62	90	△27
ライオンネイサン ナショナルフーズ (連結組替後)	60	89	△29
酒類	127	158	△30
のれん償却額	△46	△46	△0
ブランド償却費	△15	△16	0
計	64	96	△31
飲料	27	—	27
のれん償却額	△15	—	△15
ブランド償却費	△5	—	△5
計	6	—	6
本社費用	△10	△6	△4
その他	2	0	1
医薬・バイオケミカル	226	122	103
協和発酵キリン(連結組替後)	226	122	103
医薬	184	96	87
バイオケミカル	12	10	2
化学品 他	22	8	13
のれん償却額消去	23	23	0
のれん償却額	△15	△15	0
その他	15	19	△3
全社費用・セグメント間取引消去	△5	△10	4

マネジメントフィ等：キリンホールディングスへのグループ経営の対価・KIRINブランドの使用対価

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール (単社)	酒類限界利益減	△50	ビール販売数量減 △12千kl △13億 発泡酒販売数量減 △18千kl △18億 新ジャンル販売数量減 △9千kl △10億 RTD販売数量減 △4千kl △4億 焼酎・洋酒限界利益減 △2億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	4	麦芽価格安 3億、包装資材価格安 2億、 砂糖・液糖価格高 △1億
	販売費減	39	販売促進費・広告費減 39億 (ビール・発泡酒・新ジャンル 33億、RTD 9億 他)
	その他費用減	21	人件費減 5億、減価償却費減 4億、修繕費減 2億、 広報費減 2億、マネジメントフィ等減 2億 他
	計	14	
キリンビバレッジ ※	数量差異	△6	販売数量減 △58万ケース
	コストアップ	△4	原材料コストアップ △8億、原材料コストダウン 4億 他
	容器構成差異等	△10	
	販売費減	12	販売促進費・広告費減 9億、運搬費減 2億
	その他費用減	4	
計	△4		

※ 小岩井乳業は2011年よりその他セグメント

主な営業費用

(単位：億円)

		2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)
販売促進費		302	334
広告費		157	171
キリンビール	販売促進費	159	198
	広告費		
キリンビバレッジ	販売促進費	195	213
	広告費		
研究開発費		131	116
協和発酵キリン (内部取引除く)		106	90

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△35	△31	△3	現地持分損益 △20億、 投資差額償却額 △0億、 ブランド償却費 △0億 キリンアムジェン 1億 他
金融収支	△32	△48	15	
持分法による投資損益	△4	15	△19	
サンミゲルビール	△13	8	△21	
その他	8	7	1	
為替差損益	6	7	△0	
その他	△5	△6	0	
経常利益	293	206	87	
特別損益	△31	△16	△14	
特別利益	119	53	66	
固定資産売却益	39	0	38	
投資有価証券売却益	2	45	△42	
関係会社株式売却益	67	1	66	
その他	10	6	4	
特別損失	△151	△69	△81	
固定資産除却損	△4	△8	4	
固定資産売却損	△1	△0	△1	
投資有価証券評価損	△19	△1	△17	
投資有価証券売却損	—	△0	0	
関係会社株式売却損	—	△38	38	
事業整理損失引当金繰入額	△35	—	△35	
東日本大震災関連損失	△51	—	△51	
その他	△38	△21	△17	
法人税等	△216	△88	△128	
少数株主利益	△67	△40	△26	
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21	61	△82	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2011年 第1四半期末	2010年 期末	増減額	増減内容
流動資産	7,688	7,270	417	
現金及び預金	1,909	514	1,395	・化学品事業の売却による増加 他
受取手形及び売掛金	3,169	4,152	△982	・前年度末が休日による減少 他
棚卸資産	1,862	1,878	△15	
その他	746	725	21	
固定資産	18,804	19,221	△416	
有形固定資産	7,110	7,392	△282	・化学品事業の売却による減少 他
無形固定資産	6,571	6,583	△11	
のれん	5,633	5,624	8	
その他	938	958	△20	
投資その他の資産	5,122	5,245	△122	・化学品事業の売却による減少 他
資産合計	26,492	26,491	0	
流動負債	6,368	6,796	△428	
支払手形及び買掛金	1,209	1,690	△481	・化学品事業の売却による減少 他
有利子負債	2,724	1,961	763	・キリンホールディングスのCP発行による増加 他
その他	2,434	3,145	△710	・前年度末が休日による未払酒税の減少 他
固定負債	8,450	8,104	346	
有利子負債	6,267	5,827	439	・キリンホールディングスの借入による増加 他
その他	2,183	2,276	△93	
負債合計	14,819	14,901	△81	
株主資本	9,876	10,019	△143	
評価・換算差額等	△247	△395	147	・豪ドルに対する円安による為替換算調整勘定の増加 他
新株予約権	2	2	0	
少数株主持分	2,041	1,963	77	
純資産合計	11,673	11,590	82	
負債純資産合計	26,492	26,491	0	

5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(1) キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：億円)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	79	74	5
税金等調整前四半期純利益	262	190	72
減価償却費	248	222	26
のれん償却額	90	72	17
その他	△522	△411	△111
投資活動によるキャッシュ・フロー	270	△197	467
設備投資	△225	△265	40
その他	495	67	427
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,050	142	907
有利子負債の増減額	1,205	290	915
配当金の支払額	△150	△131	△19
その他	△3	△15	12
換算差額等	9	△20	29
現金及び現金同等物の増減額	1,409	△1	1,410

(2) セグメント別情報

2011年第1四半期実績

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	74	27	68	54	20	3	248
のれん償却額	0	6	63	17	1	—	90
設備投資	107	17	38	45	14	1	225
EBITDA ※	72	5	203	307	36	6	633

2010年第1四半期実績

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	81	32	40	42	21	4	222
のれん償却額	0	6	46	16	1	—	72
設備投資	78	15	44	78	8	41	265
EBITDA ※	114	23	189	176	42	△13	532

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

6. その他情報

(1) 主要な上場連結会社損益

2011年第1四半期実績

<連結子会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン(連結組替後)	1,148	219	223	103	49
のれん償却額消去		23	23	23	11
のれん償却額		△15	△15	△15	△15
連結取込計	1,148	226	231	110	45

<持分法適用関連会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	355	96	76	12	5
現地持分損益			5	5	5
ブランド償却費			△4	△4	△4
投資差額償却額			△14	△14	△14
連結取込計			△13	△13	△13

(2) ライオンネイサン ナショナルフーズ 現地通貨ベース売上高・営業利益 (連結組替後)

(単位:百万豪ドル)

	2011年 第1四半期 (実績)	2010年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
			絶対値	増減率
売上高	1,369	687	682	99.2%
酒類	636	687	△50	△7.3%
飲料	732	—	732	—
営業利益(のれん・ブランド償却前)	178	185	△7	△4.0%
酒類	157	193	△36	△18.8%
飲料	34	—	34	—
本社費用	△13	△7	△5	—

(3) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2011年 第1四半期		2010年 第1四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	131	△8.1	143	△6.9
発泡酒	119	△13.2	137	△11.5
新ジャンル	134	△5.9	143	11.4
計	385	△9.0	424	△3.1
RTD	39	△8.2	43	4.5
清涼発泡飲料	10	△10.9	11	1,116.6
売上高	億円	%	億円	%
ビール	540	△8.0	587	△6.4
発泡酒	364	△13.2	419	△11.4
新ジャンル	353	△6.0	375	11.4
計	1,258	△9.0	1,382	△3.9
RTD	109	△8.1	118	7.1
焼酎・洋酒・その他 ※	112	△9.8	124	19.0

上記売上数量、売上高には輸出分を含む

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ
 <カテゴリー別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 第1四半期				2010年 第1四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	384	10	△25	94	409	11	△116	78
		烏龍茶	61	2	0	100	61	2	△7	90
		紅茶	990	27	43	105	947	25	146	118
		計	1,435	39	18	101	1,417	38	23	102
	コーヒー飲料	719	20	△69	91	788	21	△67	92	
	果実・野菜飲料	412	11	21	105	391	10	△73	84	
	炭酸飲料	114	3	△9	93	123	3	18	117	
	水	604	16	14	102	590	16	△67	90	
	その他	217	6	△53	80	270	7	△77	78	
	国内市場清涼飲料計		3,501	95	△78	98	3,579	95	△243	94
海外市場清涼飲料計			198	5	20	111	178	5	△19	90
清涼飲料計			3,699	100	△58	98	3,757	100	△262	93

<容器別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 第1四半期				2010年 第1四半期						
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比			
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%			
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%			
缶容器	缶	ボトル缶を含む	954	26	△93	91	1,047	28	△30	97			
		PET容器	大型PET	2L	597	16	28	105	569	15	△112	84	
				1.5L、1L、900ml、750ml	318	9	8	103	310	8	△16	95	
				大型PET計	915	25	36	104	879	23	△128	87	
				小型PET	500ml	865	24	11	101	854	23	△83	91
					350ml以下	381	10	1	100	380	10	17	105
					小型PET計	1,246	34	12	101	1,234	33	△66	95
					PET計	2,161	59	48	102	2,113	56	△194	92
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、紙、ギフト 他		386	10	△33	92	419	11	△19	96			
海外市場清涼飲料計			198	5	20	111	178	5	△19	90			
清涼飲料計			3,699	100	△58	98	3,757	100	△262	93			

③ 協和発酵キリン

売上高		2011年 第1四半期		2010年 第1四半期	
		実績	前年比	実績	前年比
領域	主要製品名	億円	%	億円	%
腎	ネスプ	119	154	77	118
	エスポー	13	51	27	96
	(ネスプ/エスポー)	(133)	(130)	(103)	(112)
	レグパラ	25	129	19	158
免疫・アレルギー	アレロック	137	168	82	88
	パタノール	73	204	35	80
がん	グラン/ノイアップ ※	33	99	33	103
循環器系	コニール	46	97	48	96

※ ノイアップについては、2010年3月1日付で製造販売に係る権利等をヤクルト本社に承継